

1. 本県周辺海域の概況(図1, 12/15現在)

- ・黒潮の流型は、N型で推移しています。黒潮の本流は、犬吠埼をやや離岸した状態で本県沖合を北東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯41° 00' 東経148° 00' 付近(青森県はるか沖)にあります。親潮の面積は平年より小さめとなっています。また、東北海域の海面水温は平年並み～やや低めで推移しています(気象庁12/10発表)。
- ・福島県～茨城県海域では、11月にみられた暖水波及の影響が残存しています。

2. 海洋観測結果(12/4～5, 8～9:調査船「いばらき丸」)

- ・荒天により、大洗定線141° 45' E～142° 45' Eの定点が欠測となりました。
- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差)を図14～15に、鉛直水温図(平年偏差)を図16～17に示しました。
- ・海面水温は、会瀬沖で17.6℃～19.7℃, 大洗沖で16.5～19.3℃, 鹿島沖で16.8～18.8℃, 犬吠埼沖で18.5℃～21.3℃でした(①, 図2)。
- ・前月と比べると、表層・50m深では全域で降温しました。100m以深では、会瀬・大洗定線で降温, 鹿島・犬吠埼定線で昇温しました(②)。
- ・平年と比べると、沿岸域の100m深がやや低めであったほかは、概ね全層・全域で平年並み～高めでした(③)。
- ・潮流の特徴として、会瀬～犬吠埼定線の沖合域で黒潮の強い流れが観測されました。また、会瀬・大洗定線の142° E付近と大洗～犬吠埼の極沿岸域で弱い逆潮が観測されました。

3. 今後1か月の見通し

- ・黒潮流型は1月上旬まではN型で推移し、犬吠埼沖を北東に流去する状況が続くでしょう。
- ・親潮の面積は平年より小さめで推移する見通しで、親潮第一分枝の先端は北緯41° 00' 東経148° 00' (青森県はるか沖合)に停滞するとみられ、親潮系冷水は本県沖に直接影響しないとみられます。
- ・水温を平年と比べると、暖水波及の影響が弱まり、茨城県沿岸・沖合とも広い範囲・広い層で「平年並み」で推移するでしょう。

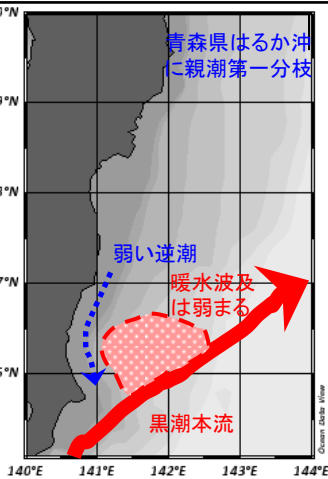


図1 海況の概要 (12月15日現在)

